

# しめのひとこと

志免町のいろんなひと、いろんなことをお伝えします！

21

## 活動の始め方と 終わり方

### 活動継続のコツ

はらだ はつえ  
**原田 初枝** エコネットしめ 会長  
シャイニングハートしめ メンバー

古賀市出身。結婚と同時に志免町に転入して以来40年以上在住。  
町内会や志免町婦人会への加入をきっかけに、様々な活動に参加してきた。  
理容師の資格を活かし「カットボランティアしめ」の活動に参加し、最後は  
会長を務めた(1995~2020年)。  
「エコネットしめ」には会の設立時から参加し、今年度より会長を務める。  
「シャイニングハートしめ」では立ち上げに積極的に関わり、そのほかにも  
志免町の各種計画の審議会委員や、更生保護女性会の理事も務めている。



## 普段の暮らしの中から、 自然にボランティア活動へ参加

結婚を機に志免町に暮らすようになって、町内会活動にも参加するようになりました。そのころ、志免町全体で活動する「志免町婦人会（以下婦人会）」があり、加入して活動し始めました。

婦人会の中の活動の一つである環境部会では、平成7年から廃油石けん作りを始め、平成11年からEMボカシ(たい肥)作りもしていました。平成14年に婦人会を解散する際、環境部会の活動を残そうと「エコネットしめ」を設立しました。現在会員は22名で、月2回、志免町向ヶ丘にある町の施設、リサイクル工房で活動しています。

同じく平成7年ごろ、社会福祉協議会の職員から「デイサービス利用者の散髪ボランティアをしてもらえないか」とお願いがありました。理容師や美容師の有資格者で活動に賛同した人たちが個人で活動し始め、平成10年に志免町ボランティア連絡協議会(以下、ボラ連)が設立された際、個人の活動から団体の活動へ移行し「カットボランティアしめ」とい

うボラ連所属団体になりました。ほぼ毎月1回の活動を25年続けていましたが、利用者の減少により役目を終え、団体は令和2年に解散しました。当時の仲間とは今でも交流が続いています。



## がん検診の受診率を上げたい！ 賛同する仲間と活動中

私自身が、忙しさから健診を1年空けてしまい、2年目の健診で乳がんが見つかりました。発見から10年治療して、現在は寛解(病気の症状が軽減またはほぼ消失)の状態です。自分の体験からがん健診の大切さを実感し、こんな思いをする人をなくしたいと強く思いました。皆さんに、がん健診の重要性を知ってほしいと、健康に深く関わるがん検診や定期健診受診率向上活動を既にされている団体を訪ね、志免町でも普及啓発活動に取り組もうと友人と誘い合わせて、「シャイニングハートしめ」として活動を開始しました。平成26年から活動し、現在10年目になります。健康に関する講演会の開催や、検診啓発のためのPRとして、チラシを配布する活動などを続けています。



生活安全課窓口で販売中！



## 誰でもできることに取り組み、 環境を考える様々な活動を実施。

エコネットしめでは、志免町飲食店組合が実施していた「割り箸リサイクル運動」に賛同しました。これは割り箸を集めてティッシュペーパーやコピー用紙などの原料として使う活動です。町内の小学校や施設、一般の方にも活動の輪が広がり、一緒に活動していました。また、福岡市の団体の活動に協力し、2001～2004年まで開催された「環境サミットinふくおか」にも参加し、4回目を志免町で開催することができました。17年間で集めた使用済割り箸59,848kgは、ティッシュ89,772箱分になりました。この活動は、木の箸を使わないようにエコ箸の利用を奨励したり、竹の箸が増えるなど、木の箸の使用量減少もあり終了しました。

身近な課題に対して取り組み、大きな活動となって成果を出し、社会や環境の変化から役目を終えるというボランティア活動の始まりから、終わりまでをずっと体験することができました。

現在団体では、町内の家庭から出る廃油を集めて、廃油石けんを作る活動とEMボカシ（たい肥）を作る活動を続けています。生活安全課の窓口で販売し、定期的買いに来てくださる方がいると聞いています。石けんは、水質浄化作用のあるEM菌石けんと普通の石けんの2種類を作っています。汚れが良く落ちると評判の石けんですし、もっと使いやすい形に変更したり、ラッピングで効果を伝えたり、袋に表示の工夫をして、活動の紹介やメンバー募集の情報なども貼ってみようかと考えています。

余った廃油は、新宮町の西田商運(株)さんに買い取ってもらいます。廃油からバイオディーゼル燃料

を製造し、運送燃料として使っている会社です。売上げは原材料の購入などの活動費に充てています。

廃油石けんを作る際の型につかう牛乳パックは、町内の小学校にお願いして、定期的に提供をいただいています。夏休みの小学生の居場所「チャレンジひろば」参加児童向けに、紙漉き体験の講師を毎年お願いされています。昨年から再開され、メンバーからも「子どもたちとの関わりはうれしい」という声が聞かれます。今年度は、新たに国民運動「COOL CHOICE」の活動に取り組みたいと思っています。



## 長続きの秘訣がわかった！ 自身の今後の活動について

「エコネットしめ」の活動は、楽しく続いています。なぜかなと考えた時に、団体内で話し合いができていて、活動の意義をしっかりと見出せていることが大きいのではないかと感じます。無理をしてまでできないので、自分にできることを楽しみながらやれるように、一緒に活動するメンバーと助け合い、「できる時にできる事をする」活動のやり方をお互いが認めています。これが、居心地の良い関係性を築き、長く活動できている理由だと思います。

私は、志免町全体の活動に長く関わってきましたが、車を手放したり年を重ねたりすると、行動範囲が狭まります。そうなったら自分の町内会に貢献するような活動をしたいと思っています。例えば、認知症の方が地域で暮らせるような取り組みに興味があります。先のことは誰にもわかりませんが、志免町全体が、認知症の方はもちろん、どんな方にも優しい地域になると良いと思います。



## 取材を終えて

原田さんから今までの活動の話をお聞きし、ボランティア団体の続け方、終わり方をたくさん知ることができました。「活動の意義」が見出せなくなったとき、惰性で活動したり、辞めたくない気持ちだけで、やることを無理に探していませんか。

立ち止まり、見つめ直すことが大切です。

